

高すぎる国民健康保険料の引き下げを求める請願

岡山市長 大森雅夫 様

請願趣旨

岡山市民の3分の1を占める国保世帯には、年金生活者や無職、不況にあえぐ零細自営業者、パート・アルバイトなど非正規労働者の方が多く加入しています。加入者の約8割は所得200万円以下となっています。

岡山市の国民健康保険料は、市の努力もあって8年連続の据え置きになっています。しかし、他の政令市と比べれば大変高いという現状に変わりありません。「払いたくても払えない」、「生活が苦しい、払える額に引き下げて」という悲鳴が多く、市民からあがっています。高すぎる保険料を払えず、滞納がある世帯は今や4世帯に1世帯となり約2万数千世帯にもなっています。

また、正規の国民健康保険証を持ってない世帯(短期証・資格証)も約10世帯に1世帯となっています。そのため病院の窓口での支払いが心配で、病気になっても医者にかかれない事態も起こっています。

国民健康保険制度は、憲法25条の社会保障の理念にもとづく国民皆保険の土台です。

岡山市は「市民のいのちと暮らしを守るとりで」として、国に対し、減らした国庫負担を元に戻すよう要求するとともに、保険料を「払うことができる額」に引き下げ、誰もが安心して医療が受けられるようにすることを強く求めます。

請願事項

1、全ての世帯で国民健康保険料を引き下げてください。

氏名	住所

※記入していただいた個人情報は、署名提出以外の目的には使いません。

岡山市社会保障推進協議会 〒700-0905 岡山市北区春日町5-6 県労おかやま内 TEL. 086-234-2041

取り扱い団体 ()